



重点施策①

# 未来を見据えて、

## 着実に前進するまちづくり

### まちづくり *Community development*

人口減少や少子高齢社会がさらに進み、近い将来、地域産業の停滞や市街地の低密度化による生活利便性の低下などが予想されます。将来にわたり、市民の皆さんが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることのできる、持続可能でコンパクトなまちを構築するため、居住地の集約や生活に必要な都市機能の集約の考え方を示すとともに、公共交通の確保に向けた取り組みを推進していきます。

○登別市都市計画マスタープランの改訂・登別市立地適正化計画の策定

1,855万円

※市公式ウェブサイトで、進捗状況をお知らせしています。ぜひご覧ください。



▲都市計画マスタープラン

○登別市地域公共交通計画の策定

公共交通事業者や市民、学識経験者などで構成する登別市地域公共交通活性化協議会が策定を進めています。



▲立地適正化計画

○協働のまちづくりの推進、ICTを活用した各種団体との情報共有

### 行政改革 *Administrative reform*

持続可能な行政経営を推進するため、納税等の利便性の向上を図るとともに、公共施設の統廃合による適正配置・総量削減や行政事務などのデジタル化に努めていきます。

○市税や保険料などの納付方法にスマートフォン決済アプリを導入

4月1日(休)より、『PayPay』と『LINE Pay』で、市税などを納付することができます。



○小・中学校の適正配置の検討、統廃合に向けた取り組みの推進

○登別市公共施設等総合管理計画の見直し

○情報化推進計画の策定

○新しい働き方の推進

### 防災 *Disaster measures*

近年、頻発する大規模自然災害において、各関係団体と役割分担を明確にし、連絡体制の強化・整備を図るとともに、感染対策を講じた避難所運営のほか、消防庁舎の整備を進め、災害に強いまちづくりを推進していきます。

○登別市強靱化計画の策定 (令和3年3月)

○災害発生時の対応の充実・強化

- ・感染対策を講じた避難所運営・管理体制の整備
- ・総合防災訓練の実施

250万円

- ・防災マップの更新

761万円

○消防本部新庁舎の造成工事の実施 (令和7年度供用開始予定)



▲富岸町の高台に位置する消防本部建設予定地



▲令和元年7月20日(出)に、鷺別地区を会場に実施した総合防災訓練

○市役所本庁舎建設基本計画などの再検証 (建設位置などの決定)

北海道が、令和3年度に新たな津波浸水想定を公表予定であることから、その内容を精査し、令和2年3月に策定した『登別市本庁舎建設基本計画』などを再検証します。

市役所本庁舎建設基本計画の再検証



### 環境 *Environment*

気候変動問題をはじめとする地球環境の危機が深刻化しているなか、国は、2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにするカーボンニュートラルの実現を目指すと宣言しました。市としても、脱炭素を環境問題の身近な課題として捉え、環境に優しいまちづくりの取り組みを進めていきます。

○令和12年度以降のごみ処理施設のあり方に向けた検討 今後のスケジュール 1,605万円

令和3年度に、クリンクルセンターの機能診断を行い、さらなる延命化の可能性を探るとともに、新設した場合の処理方法や分別方法などを検討。方針は、令和4年度中の決定を予定しています。

ごみの減量化に、引き続きご協力を

ごみの減量化や再資源化は、二酸化炭素の排出抑制につながるほか、新たな施設を建設することになった場合、規模の縮小による経費削減にもつながります。